

▶「ITプログラム体験をする子どもたち」

## 楽しい夏休みの思い出に 町社会福祉協議会が「ひまわり教室」を開催

町社会福祉協議会(佐藤安彦会長)は8月7日から3日間および8月21日から3日間、「ひまわり教室」を町内小学生を対象に農業就業改善センターで行いました。これは、同世代の子どもが集まり友だちを作る場を提供し、世代間の交流を通して思いやりの心を育むことを目的として開催。当日は中学生やボランティアスタッフなどの協力を得て行われ、食育学習や福祉体験などを行いました。最終日には熊本県職業能力開発協会との合同企画「ものづくり体験教室」も行われました。鶴山権士さん(関下)は「自分たちでプログラミングさせて、応援団みたいな動きをさせた。ロボットの動きは面白い」と充実した表情で話しました。

## ソフトボールで選抜入りを報告

大塚雅弥さん

南関中学校3年生の大塚雅弥さん(宮尾)が、8月23日に佐藤町長を訪問。24日から長崎県諫早市で開催された第16回九州各県対抗中学生選抜ソフトボール大会への出場を報告しました。

大塚さんは、県の選考会を経て、熊本県選抜として18人の選抜メンバーに入り出場をつかみました。

大塚さんは、「中学校最後の選抜大会になるので、悔いの残らないよう、ホームランを打って、チームの期待に応えられるよう頑張りたい」と力強く意気込みを語り、佐藤町長は、「チームの中心打者として優勝を目指して頑張ってください」と激励しました。



▶報告に訪れた大塚さん(左)



▶標語を発表する生徒

## 犯罪や非行のない地域社会へ

社会を明るくする運動推進大会および青少年育成推進大会

社会を明るくする運動実施委員会と町教委は8月4日、「社会を明るくする運動推進大会および青少年育成推進大会」を南の関うから館で開催しました。小中学生が将来の夢や自分自身の心の葛藤などについて書いた作文や、あいさつや人を思いやる気持ちを詠んだ標語を発表しました。

その後、寺本真将さんによる講演「『世界の貧困』と『日本の貧困』」について講演があり、寺本さんは、世界約50か国を巡り印象に残った出会った子どもたちについて話しました。

## 防衛大学生が表敬訪問

吉富寛将さん

今年の4月に防衛大学校(神奈川県)に入校した吉富寛将さん(長山出身)が8月2日、佐藤町長を表敬訪問しました。

吉富さんは入校して4カ月たった心境を「目上の人と接する事が多く、尊敬する先輩が沢山できた。自分も、下級生や指導教官から評価される上級生になりたい」と、凛とした表情で語りました。

佐藤町長は「人と人のつながりは私も大事にしています。自分の気持ちを最後までしっかり持って、頑張ってください」とエールを贈りました。



▶表敬訪問した吉富さん(左から2番目)

## 第75回熊本県民体育祭 玉名荒尾大会

### スローガン・シンボルマーク決定

令和2年9月19日(日)、20日(月)に玉名荒尾地域で開催される熊本県民体育祭のスローガン及びシンボルマークが決定しました。

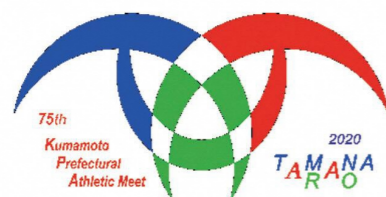
応募総数306点(スローガンの部に170点、シンボルマークの部に136点)、たくさんのご応募ありがとうございました。

#### 【スローガンの部】

共に歩み 共に競え 2020玉名荒尾県体

塩満 瑞穂さん(荒尾市)

#### 【シンボルマークの部】



志水 颯記さん(玉名市)

#### 【作品説明】

玉名都市の頭文字Tと荒尾市の頭文字Aを使って作成しました。玉名荒尾地域に関する有明海(青)、いちご、トマト(赤)、小岱山(緑)、色の3原色を使って地域の交流を表現しました。

第75回熊本県民体育祭玉名荒尾大会実行委員会事務局 ☎0968-57-8857



▶集中して盤上を見つめる参加者

## 「オセロで勝負！」

交流センターで世代間交流

町と町社会福祉協議会は、いろいろな世代の人との交流を目的とした世代間交流事業を8月19日、交流センターで行いました。

この日は、老人クラブ連合会などの皆さん38人と小学生104人が参加。オセロで交流を深めました。

参加者たちは、対戦に入ると、勝利を目指し、真剣な表情で次の一手を考えていました。

このほかにも、風船をひねって、動物や乗り物などいろいろなものを作るバルーンアートのショーもあり、児童たちは色とりどりの風船で作られるアートに目を輝かせていました。

## 踊りで“福”を届けたい

南関笑福隊が「ひよっとこ大賞」受賞

日向ひよっとこ踊り南関笑福隊(松村由紀子隊長)は8月9日町長を訪問。8月3日に宮崎県で開催された、日向ひよっとこ夏祭り以最優秀賞の「ひよっとこ大賞」を受賞したことを報告しました。

この大会は、全国から113チームが出場し、南関笑福隊は、合同チームの「日向ひよっとこ踊り肥後愛好会」として出場しました。

松村さんは、「練習成果を発揮して、みんなの団結力で取れた賞。大賞が取れて、こんなにうれしいことはない。これからもみなさんに“福”と届けられるようますます精進したい」と喜びを伝えました。



▶報告に訪れた南関笑福隊のみなさん